



第46巻 第2号

史学・地理学・考古学

郡司制展開の諸形態……………上田正昭(1)

柚工と荘園(中)……………赤松俊秀(29)
——伊賀国玉滝・黒田荘——

清代の捐納と官僚社会の終末(上)……………近藤秀樹(82)

一九二〇年におけるルール蜂起と
ワイマール連合の退場……………中村幹雄(111)

東北地方における郡の成立……………服部昌之(138)

書評

村尾次郎著：律令財政史の研究……………藺田香融(166)

紹介

比良山古人靈託 漂到琉球国記

会報 学界消息

史学研究会

京都大学文学部内

京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会

ラムネーの社会思想—peopleと

paavos 生熊來吉

ソ連・フィンランド戦争の起源とパ
ーシキヴィ 百瀬 宏

いわゆる全權委任法について 吉田輝夫

日本史研究会 一九六二年度大会

昭和三十七年十一月十七・十八日

於 立命館大学

第一日(個別発表)

大王から天皇へ

鎌倉仏教の再検討

近世初期大名領の財政問題

日露戦争後の軍事と政治

第二日(共同研究報告)

ふたたび「現代における歴史像の再
構成」のために

「前近代」前近代社会の日本的展開

八・九世紀における農民の動向

中世後期の商品流通と領主階級

幕藩体制下の思想構造

「近代」世界史における近代日本

日本帝國主義の成立と構造

日本帝國主義思想の成立

鈴木良・佐々木隆爾

飛鳥井雅道

東方学会 第十二回全国会員総会

昭和三十七年十一月四日 午後一時〜五時

於 大谷大学

明末清初の南洋華僑

東管仏教に於ける浄土の理念 安藤俊雄

岩生成一

委員会だより

◇ 四六巻二号、本来ならば三月にお手許に

おとどけしている筈、大変おそくなりまし

ことをおわびいたします。本号掲載の中

は、非常に早くから御寄稿いただいていた論

文もありまして、執筆者各位にもごめいわ

をおかけいたしました。発行のおくれがやや

慢性化しておりますこと、委員一同気が気

ではないのでありますが、何分にも思うにま

かせぬのが近頃の印刷事情でありまして、あ

からずおゆるし下さい。

◇ 「学界消息」欄の拡充の方針は、前号に

もお知らせしましたが、関係学会各位の協

力をえましたので、本号より大幅に掲載範囲

を拡大いたします。各専攻ごとの論文目録は各

方面で作られておりますが、口頭発表につ

ては、せまい範囲でしか試みられておりませ
ん。本誌も、もとよりさきうるスヘイスはさ
ほど多くありませんが、この方針は、各位の
研究の一助としてお役にたつものと考えてい
ます。

◇ しかしながら、本欄をより充実するため
には、どうしても各位のご協力を仰がなけれ
ばなりません。どしどしニュースをお寄せ下
さいませう、お願いいたします。学会の動
向のみでなく新しい資料の発見や発掘などの
報道も、とりあげたいと考えています。学会
誌の使命は、各位の論文を掲載する、「発表の
場」であるとともに、「交流の場」をも提供
する使命をもつわけですが、その「交流」
をよりはば広く考えたいと思うわけです。な
お、ご意見をお聞かせ願えれば幸甚です。

一九六三年二月二日印刷 定価二〇〇円

一九六三年三月一日発行

史 林 (第四六巻第二号)

発行所 京都市左京区吉田本町 京都大学文学部内

史 学 研 究 会 振替京郵五一五五番

理事長 宮崎市定

編集主任 赤松俊秀

印刷所 京都市下京区西七条御所ノ内東町三九

中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLVI, No. 2 Mar., 1963

CONTENTS

Articles :

Forms in Development of the *Gunshi* 郡司
System..... *M. Ueda* (1)

Somakô 杣工 and Manor (Ⅰ)..... *T. Akamatsu* (29)

Chüan-na 捐納 in the *Ch'ing* 清 Dynasty and the
End of the Bureaucratic Society (I)..... *H. Kondô* (82)

Ruhr Insurrection and the Walk-Out of
Weimar Coalition in 1920. *M. Nakamura* (111)

Formation of Counties in the North-eastern
District..... *M. Hattori* (138)

Book Reviews and News

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan